

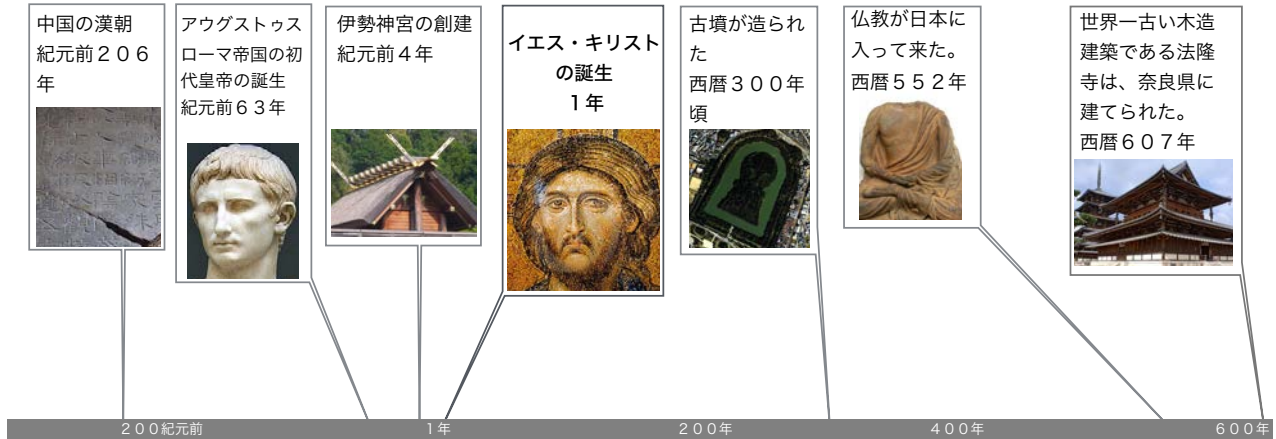
ファースト・ステップ 2

イエス・キリストは誰？

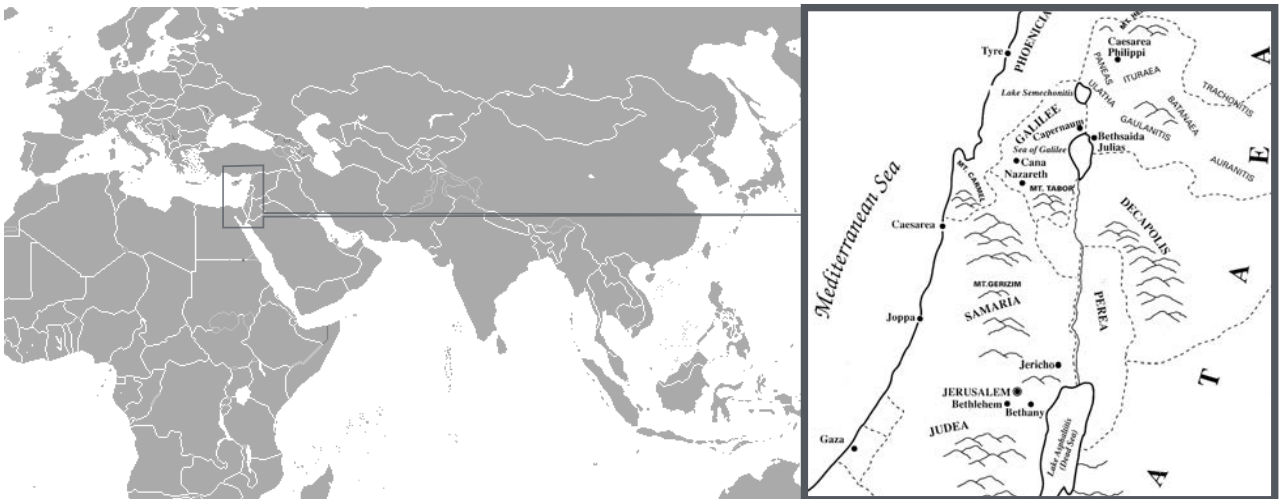


考えましょう：イエスについて何か聞いたことがありますか？

イエスは約2000年前に生まれた歴史上の人物です。



イエスはイスラエルにあるベツレヘムと言う小さな町で生まれました。



イエスについての一般的な事実：

- ・この世の財産はあまりなく、貧しい暮らしをしていた。
- ・結婚をせず子どももいなかった。
- ・30歳まで大工として生計を立てていた。
- ・30歳から33歳まで各地を巡りながら神について教えた。
- ・33歳でローマ人とユダヤ人の指導者たちによって十字架上で処刑された。
- ・イエスは本を書いたことがないにも関わらず、歴史上で誰よりも多く本に書かれている。
- ・イエスは海外に行ったことがないのにイエスの名は世界の隅々にまで宣べ伝えられている。

聖書には、福音書と呼ばれるイエスの生涯に関する歴史的書物が4つあります。これらの書物のタイトルはマタイ、マルコ、ルカ、ヨハネです。イエスの生涯、死そして復活について述べています。

福音書は目撃証人(マタイとヨハネ)および目撃証人の話を聞いた人達(マルコとルカ)によって書かれ、またこれらの記述は長い月日を通して注意深く保存されました。福音書のように歴史的に正確で、なおかつ保存状態が良い古書は他にありません(本レッスン最後の注釈を参照ください)。

イエスの生涯

イエスの生涯を理解するために、イエスが成したことそしてイエスが教えたことを見ていきましょう。

イエスは何をしましたか？

1. イエスは奇跡を起こした: 彼は病人を癒し、盲目の人を見えるようにし、足の不自由な人を歩かせ、水上を歩き、嵐を鎮め、死者を甦らせました。



マタイによる福音書15章30説

すると、大ぜいの人の群れが、足なえ、不具者、盲人、おしの人、そのほかたくさんの人をみもとに連れて来た。そして、彼らをイエスの足もとに置いたので、イエスは彼らをおいやしになった。

2. イエスは、身分の低い人やその当時社会的に日蔭者と見なされた人—女性、子供、徴税人、貧しい者、売春婦、未亡人を含む全ての人に愛と哀れみを表しました。



マルコによる福音書1章40～42説

さて、ツアラアトに冒された人が、イエスのみもとにお願いに来て、ひざまずいて言った。「お心一つで、私はきよくしていただけます。」イエスは深くあわれみ、手を伸ばして、彼にさわって言われた。「わたしの心だ。きよくなれ。」すると、すぐに、そのツアラアトが消えて、その人はきよくなった。

注: 「ツアラアト」とは、非常に伝染性のある皮膚病のことです。いったんこの病気にかかると、患者はもう二度と自分の配偶者や子供達に触れたり抱き寄せたりすることはできませんでした。1世紀頃、ツアラアトの患者は自分たちの家族や友人から離れて町の外にあるツアラアト患者区域に住まざるを得ませんでした。買い物で町に入る場合、ツアラアト患者は、自分が来ていることを人々に警告するために大声で叫ばねばなりませんでした。非常に孤独で恥ずかしい生涯でした。

ほとんどの人がツアラアト患者から逃げ出す中、イエスはこの患者に哀れみを示すだけでなく彼に触れることさえしました。

3. この地上で生きておられた間中ずっと、イエスは完璧で純粋で、罪のないお方でした。



ペテロの手紙第一2章22説

キリストは罪を犯したことがなく、その口に何の偽りも見いだされませんでした。

4. イエスは神と神の国について人々に教えながらイスラエルを巡りました。



マルコによる福音書1章14～15と38-39説

ヨハネが捕えられて後、イエスはガリラヤに行き、神の福音を宣べて言われた。「時が満ち、神の国は近くなった。悔い改めて福音を信じなさい。... イエスは彼らに言われた。「さあ、近くの別の村里へ行こう。そこにも福音を知らせよう。わたしは、そのために出て来たのだから。」こうしてイエスは、ガリラヤ全地にわたり、その会堂に行き、福音を告げ知らせ、悪霊を追い出された。

イエスは何を教えましたか？

イエスは様々な場所で、様々な方法で教えました。最もよく見られるイエスの教え方の1つは、「たとえ話」を使うことによってさらに偉大な真理と意味を指し示すという方法です。



マルコによる福音書4章1～2説

イエスはまた湖のほとりで教え始められた。おびたしい数の群衆がみもとに集まった。それでイエスは湖の上の舟に乗り、そこに腰をおろされ、群衆はみな岸への陸地にいた。イエスはたとえによって多くのことを教えられた。その教えの中でこう言われた。

1. イエスは私たちに神と人とを愛することを教えました。



マルコによる福音書12章29～31節

イエスは答えられた。「一番たいせつなのはこれです。『イスラエルよ。聞け。われらの神である主は、唯一の主である。心を尽くし、思いを尽くし、知性を尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』次にはこれです。『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。』この二つより大事な命令は、ほかにありません。」

2. イエスは自分が聖なる神の子であると教えました。



マルコによる福音書14章61～62節

しかし、イエスは黙ったままで、何もお答えにならなかった。大祭司は、さらにイエスに尋ねて言った。「あなたは、ほむべき方の子、キリストですか。」そこでイエスは言われた。「わたしは、それです。人の子が、力ある方の右の座に着き、天の雲に乗って来るのを、あなたがたは見るはずです。」

注: イエス誕生の何千年も前、神は「キリスト」「神の子」と呼ばれる救世主を送ることを約束しました。イエスはこの預言の実現(成就)でした(ファースト・ステップ4を参照してください)。上記のマルコ14章にあるように、イエスはしばしば自分のことを話すときに自分を「人の子」という言葉で表しました。「人の子」とは旧約聖書のキリストについての預言を指し示す言葉です。



考えましょう: イエスの生涯について何があなたの心に留まり、また驚かせましたか?

イエスの死

イエスの死の歴史的な記述は4福音書全てに記されています。イエスは夜中に行われた違法な裁判の後、(金曜日の午後)十字架上で処刑されました。

1. イエスはなぜ殺されたのか?

ユダヤ人の指導者は神の子としてイエスを受け入れず、彼の権威を不当に拒みました。ここに、ユダヤ人の指導者がイエスを殺そうとした理由を表す記述があります:



ヨハネによる福音書10章33節

ユダヤ人たちはイエスに答えた。「良いわざのためにあなたを石打ちにするではありません。冒涇のためです。あなたは人間でありながら、自分を神とするからです。」

2. イエスは自分の死を予期していた。



マルコによる福音書8章31節

それから、人の子は必ず多くの苦しみを受け、長老、祭司長、律法学者たちに捨てられ、殺され、三日の後によみがえらなければならないと、弟子たちに教え始められた。



考えましょう: 普通、人が、イエスがしたように特定の 방법으로自分の死について語るのを私たちは耳にしません。イエスが自分自身について、どのように死んで3日後に甦ると非常に明確に語っていることについて、あなたはどのように思いますか?

イエスが自分の死に方と時期について詳しく知り、そして再び生き返るとは注目に値します。イエスが非常に詳細に知っていた(そして彼は正しかった!)という事実は、さらに偉大なことを指し示しています。イエスはあなたや私のようなただの人間ではなく、より偉大な何かだということです。

3. なぜイエスは死ななければならなかったのか?

イエスが自分の死を予言した一例においてこのように述べています:



マルコによる福音書10章45節

「人の子が来たのも、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためなのです。」

イエスは、支払い切れない借金という言い方で私たちの罪を表現するために「贖いの代価」という言葉をここで使用しています。イエスは、人の罪とは私たちが支払うことのできない借金のようであると教えました。例えば、あるたとえ話で、使用人が彼の主人と借金を清算しようと試みるお話をイエスはしています。



マタイによる福音書18章24～27節

清算が始まると、まず一万タラントの借りのあるしもべが、王のところに来て来られた。しかし、彼は返済することができなかったため、その主人は彼に、自分も妻子も持ち物全部も売って返済するように命じた。それで、このしもべは、主人の前にひれ伏して、『どうかご猶予ください。そうすれば全部お払いいたします』と言った。しもべの主人は、かわいそうに思って、彼を赦し、借金を免除してやった。

イエスの時代には、1 タラント（貨幣単位）は2年分の賃金に等しかったのです。使用人が主人に借りた金額は完全に支払うことが不可能であるのに、彼は借金を清算すると主人に言い張り続けました！

イエスの死は私たちの借金を清算する贖いの代価でした。

4. 私たちは信仰を通してイエスの死から恩恵を受けることができます。



ヨハネによる福音書3章16節

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

イエスの復活



考えましょう: イエスと他の主要な宗教の指導者との決定的な違いは何ですか？

イエスと他の宗教指導者を比較する際に、議論される違いは数多くありますが、最も重要な違いはイエスが今日も生きているということです。

イエスが予言した通り、殺された3日後に神はイエスを死から甦らせました。イエスの復活は4つの福音書全てに記録され、クリスチャンはそれを歴史的事実と信じています。聖書の中の一つの書物の著者は、イエスの復活は真実であると強く確信し、懐疑論者に復活後のイエスを見た多くの人々（500人以上）に話しかけるよう奨めています。



コリント人への手紙第一15章3～6節

私があなたがたに最も大切なこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。キリストは、聖書の示すとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、また、葬られたこと、また、聖書に従って三日目によみがえられたこと、また、ケバに現われ、それから十二弟子に現われたことです。その後、キリストは五百人以上の兄弟たちに同時に現われました。その中の大多数の者は今なお生き残っていますが、すでに眠った者もいくらかいます。

注: 聖書で「眠った」と言う場合、一部の人々が永眠したことを述べる丁寧な言い方です。「ケバ」や「十二弟子」は、3年間の公生涯を共にしたイエスの弟子を表します。

復活の証拠

- この話は完全に信頼性があり真実である神の言葉（聖書）のうちに書かれている。
- イエスのお墓は空であり、彼の遺体は一度も見つけられなかったことがない。
- 以下の事実はイエスの復活なしには説明できない:
 - 彼の兄弟（ヤコブズとユダ）は、イエスは頭がおかしいと思ったが、その後、イエスに対する考えを変えた。
 - イエスの弟子は、その多くが殉教者として死ぬその時までイエスが誰であるかを大胆に宣言し続けた。
 - イエスの敵（使徒パウロなど）は改心して彼を礼拝した。

キリスト教は、イエスの驚くべき生涯、死、復活を通して現される、あなたに対する神の偉大なる愛の物語です。

神との和解と天国における永遠の命は、イエス・キリストへの信仰により受けることができます。

次の時間について:

「最初のステップ: ステップ3」の準備をするには: レッソンを深く理解するために、今週少し時間を取ってください。また、時間があれば、ローマ人への手紙のイエスの良い知らせを読み始めてください。

付録: 福音は歴史的に信頼性がありますか？

聖書学者は福音書の歴史的な信頼性を擁護しています。たくさんの証拠があります。以下にいくつかを紹介します:

- 5000以上ものギリシャ語の写本があり、その中にはオリジナルの原稿から100年未満のものもある。
- これらの写本は99%正確である。
- 矛盾した考古学的、歴史的な証拠がないだけでなく、現在実施されている発掘は福音の詳細に関しても支持し続けている
- 福音書は目撃者(マタイとヨハネ)と目撃者に尋ねた人(マルコとルカ)によって書かれ、そして真理の為に死ぬ覚悟のある人々によって大切に保存された。